

# 東京理科大学宮澤研究室

## 平成20年新年会



*Festina Lente*

### 東京物理学校・東京理科大学



本学創設者たち

↑ 東京物理学校初代校長  
1883-1896  
寺尾 寿 (天文学)



東京理科大学初代学長↓  
1949-1953  
本多光太郎  
(金属物理学)





## 酒井正春さん（教授室にて）

快適なんだろうけど、もう少し整理したら



私は北海道大学に来て19年になりました。医学(部)研究科に在籍していましたが、3年前から医学部保健学科で教えています。保健学科は看護師、放射線技師などを養成する短期大学が4年生の大学に昇格したところで、もっぱら国家試験を意識した内容を教えるところだったためか全く雰囲気違います。以前は仕事の90%が研究で、ほとんど雑用もなく何も考えないで研究に没頭できました。こちらに来てからは、80%が講義、実習(とても実習が多い)、および雑用で研究できる時間がほとんどありません。研究業績やできの悪い学生に期限内に学位を取らせなくてはならないといったプレッシャーがなく、毎日ゆっくりと眠ることはできるのですが、徐々にメタボになりそうです。それでは困るので健康のためにも、ほとんどだれもいない実験室で、細々と研究を続けています。

昨年、国際学術雑誌に書いた論文が100編を超えました。多くはつまらない論文ですが、中には評価されている論文もあります。けっして自慢できるほどの業績ではないのですが、やはり僕自身は多少の感慨を覚えています。今年4月からはやっと大学院が設置され(大学院設置のための様々な委員会、書類作りなど大変でした)、少し研究環境が良くなるものと期待しています。

趣味は全くないのですが、数年前から小さな畑を借りて、野菜などを栽培しています(定年後の準備でもあります)。これはとても楽しく、初夏から秋にかけての週末はほとんど土と戯れています。定年までもう少しの時間ですが今まで通り教育、研究を続けていきたいと思っています。

札幌にお越しの節は是非、立ち寄ってください。同窓の皆様のご健康とご発展をお祈りしています。

酒井正春 北海道大学医学部保健学科(4月より大学院保健科学研究院)

## 渡辺盛夫さん（研究室外ゲスト）

当方、適当に働き、適当に休暇を取って人生をエンジョイしています。当面は体力強化と週二回ほどトレーニングに行っています。また、新聞等の投稿を運試しでやっています。新聞に載るには五回に一度です。

今回は、インド海外旅行に行き、時空体験をしました。日本は恵まれ過ぎですな。昔の知識を生かして、年に一度花火大会のボランティアをやっています。花火大会は、三十年以上行っていることになります。

会うのを楽しみにしております。

## 松田和代さん（旧姓 岩崎 昭和57年度）



幼児期だから深めたい親子の絆、スキンシップ。お母さんの温かなひざの上で聞いた数々のお話、忘れられない一冊。

いつまでも子どもの心に残っていくものでしょう。絵本のもつ豊かさから、人の心や生きる喜びを、絵本を通して子どもたちに語りかけることができたら・・・と願っています。

「梟」の名は、学生時代の研究室の会報誌“OWL”からとった。ミネルヴァのふくろうの止まり木に“Festina Lente”「ゆっくり急げ」と刻まれている。

“Festina Lente”の思想を子育てにと、先回り教育であってはいけませんが、愛情をかけ、刺激を与えて、多くの体験は必要との考えを当てはめ、え本を通して親子のふれあいをもつことで、少しでも心豊かにと祈り、教授亡き今でも「梟」に見守られていることに力強さを覚え、仲間と絵本を楽しみながら、ともに親子で向上できたら…と、自分にできるふれあいの場を提供し、今日に至っている。



えほん作家

きむらだいすけさんとともに楽しい一日を過ごしました♪ (Rホールにて)

2002年12月

## トピックス

このたび、子どもの読書活動  
優秀実践団体として、え本の会  
「梟」が文部科学大臣表彰をい  
ただくこととなりました。

2003年4月23日「こどもの  
読書の日」に行われた子ども  
読書活動推進フォーラムで表  
彰をしていただきました。



鎌倉の小学校でのではなし会



鎌倉の小学校でのおはなし

### 小宮山 寛機 さん（昭和48年度）

こんにちは。幹事ご苦労様です。今回は予定を入れてあり出席できません。盛会をお祈り致します。

加藤さんの合唱は良い趣味ですね。大きな声を出すと免疫が活性化されます。私の家内は合唱の伴奏などにかり出されていますが、私は酔っぱらって嫌々歌わされるカラオケ程度です。

北里研究所の仕事は研究担当顧問の様な仕事です（若者の人材育成と若者が働きやすい環境の整備です）。その他、遺伝子研究の倫理委員、知的財産管理、研究評価委員など研究から一步二歩後退したところで研究関連の仕事をしております（がん免疫療法研究は続けていますが）。3月で北里研究所は約100年の歴史を閉じます。自ら設立した北里大学と合併し「学校法人北里研究所」になります。

4月からは(財)北里環境科学センター（食品、病院など衛生管理、空気、上下水、湖沼などの化学物質、ウイルス、原虫の研究・検査など）での指導が主です。今ノロウイルスで忙しいです。

趣味は週末はテニス、ガーデニング（雨が降れば読書と音楽鑑賞など）を楽しんでいます。

寒い季節です、ご自愛専一にお過ごし下さい。良いお年をお迎え下さい。

よし え い

## 渡 辺 美 映 さん



(昭和49年度)



新年明けましておめでとうございます。

今は、食品や水、細菌などの検査機関で働いておりますが、仕事を離れての楽しみの一つとして椿(岩根紋)に凝っております。さし芽をした椿が花を咲かせるまで普通3年かかりますが、苗が欲しいという知人がたくさんおり、もう少し短縮できないだろうか、今年つぎ木の勉強をしたいと思っております。

加藤さんも歌がお好きなようですが、私も昔は理大合唱部員でした。簡単ですが近況にかえさせていただきます。

## 千 葉 均 さん

(昭和45年度)

宮澤研OBの皆様へ

今年は家庭内の事情で新年会への参加を見送ります。来年は是非出席したいと思っています。

さて、私は昨年仕事の部署が代わり、「先端技術を活用した農林水産研究高度化事業」(公募型競争的資金1~5千万円×1~5年)を担当することになりました。1月中旬には応募要領が発表されると思いますので、農林水産畜産あるいは食品関連の研究をされている方でお金を欲しい方は農水省のホームページを注視してください。お問合せは当協会社団法人農林水産技術情報協会ホームページにアクセスして連絡してください。(http://www.aftis.or.jp/)

また、昨年9月にはタイ国にて現地食品企業向けのQCセミナーの講師をしてきました。彼らは、日本への輸出をどうしたら増やせるのか、どうしたら信用を得る事ができるのか、そして、日本市場の状況はどうかと非常に熱心に聴講していました。今年もまたタイに行く事になりそうです。

## 社団法人 農林水産技術情報協会

Agriculture, Forestry and Fisheries Technical Information Society

(社)農林水産技術情報協会は、産－学－官、研究－行政－普及、生産者－消費者を結ぶ農林水産技術情報の架け橋をめざし、多面的な活動を展開しております。



【本部】 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町15-6



染付け絵皿 (30cm)

製作: 千葉 均 さん

## プロフェッショナル 仕事の流儀

人の中で 人は育つ  
中学教師・鹿嶋真弓

鹿嶋真弓さん



(昭和55年度)

生徒のつながりを作る

教師やめますか、人間やめますか

つながりが人を支える

NHK『プロフェッショナル 仕事の流儀』で(2007年4月3日放映)で  
紹介されました。

鹿嶋さんは、現在、博士課程にチャレンジ中です。

鹿嶋真弓さん

## プロフェッショナル 仕事の流儀

2007年4月3日(火)、NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」  
に取り上げて頂きました。今まで取り組んできたことを振り返り、次な  
る一步をどう踏み出すか、自分のキャリアについて考えるきっかけにも  
なりました。何かを始めようと思ったときは「今が一番若い!」と自分  
に言い聞かせ、悔いの残らぬ人生を歩んでいこうと思っています。

近況ですが、この年にして博士課程にチャレンジしようかと思い、入  
試科目である苦手の英語を再度学び始めました。受験に合格するとも限  
りませんし、チャレンジし続けても何年かかるかわかりません。ですか  
ら、並行して論文を学会に投稿しながら、論博にもチャレンジするつも  
りでいます。

心理系の理学系とは異なり、学会論文は査読から採択まで、2年くら  
いかかることもあり、壮大な計画になりそうです。年々、記憶力・思考  
力・体力は低下しています。いつまで、このモチベーションが継続する  
か...といったところです。では、皆様によりよくお伝えください。

<http://www.nhk.or.jp/professional/backnumber/070403/index.html>

## プロフェッショナル 仕事の流儀

「今は「過去」より、もっと熱い。  
仕事の流儀には、その人の生き方が現れる。

「プロフェッショナル 仕事の流儀」は、さまざまな分野の  
第一線で活躍中の一流のプロの「仕事」を徹底的に、  
掘り下げる新しいドキュメンタリー番組です。



「プロジェクトX」は過去の業績に光をあて  
ましたが、「プロフェッショナル」は、今と未  
来を描くドキュメンタリー。現在進行形だか  
らこそ、現場発の「仕事に役立つ情報」と、  
視聴者のみなさんが「自分も頑張ろう」と  
思えるような「明日への元気」をお届けし  
ます。

キャスターは、新進気鋭の脳科学者、茂  
木健一郎さん。脳と心の謎に挑んできた  
脳科学のプロフェッショナルが、独自の視  
点で、異分野のプロに切り込みます。

人の中で 人は育つ

## 中学教師・鹿嶋真弓の道具

### エンカウターの授業で使うプリント

|                                 |                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| きれいな空気を吸う権利                     | 「今、あなたは熱気球に乗っています。<br>ところがトラブルがあって、どんどん高度が<br>下がってきました。助かるためには、積ん<br>である10個の荷物(権利)を順番に捨てな<br>ければいけません。どれを捨てて、どれを<br>最後まで残すのか」<br>という問いかけをする。<br>価値観の相互理解を目的にしたプログラ<br>ム。この他にもさまざまなプログラムがあり、<br>クラスの状態を見ながら、使い分ける。 |
| 正確な情報が与え、<br>それを聞いてもらえる権利       |                                                                                                                                                                                                                   |
| おもしろいものをもらう権利                   |                                                                                                                                                                                                                   |
| いじめられたり、攻撃<br>を受けられない権利         |                                                                                                                                                                                                                   |
| 遊ぶ・休める<br>時間をもつ権利               |                                                                                                                                                                                                                   |
| 愛し、愛される権利                       |                                                                                                                                                                                                                   |
| 毎日、先延ばしせずに、<br>きれいな空気を<br>吸える権利 |                                                                                                                                                                                                                   |

## プロフェッショナルとは …

『情熱がまず第一条件。情熱だけでは駄目だ。なっていることを体験したので、そこに技術がなくちゃいけない。で、立ち止まることなく、いつもいつも研究をしつづけている。現在進行形の人です。』

鹿嶋真弓



岡野美枝子さん

(旧姓 小黑 昭和50年度)

動物愛護の精神に基づき、命あるものに対するかぎりない生命の尊厳と、慈愛の精神を教育の基盤として、豊かな人間性を備え、動物看護にかかわる基本的な理論・技術を修得した動物看護職を育成することに努めます。さらに専攻科において、動物看護

学と動物人間関係学の教育研究を究めます。

■生命を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を養います。■国際的な視野をもった創造性豊かな人材を育成します。■動物看護学の科学的確立と研究に加え、関連分野を含めた職域の開発をします。



## 企業を取り巻く最新事情

加藤良一さん（昭和46年度）

### ■商法から会社法へ（平成18年5月施行）

1. 三つの義務 強化・拡大
  - ①内部統制システムの構築義務
  - ②取締役会での決定義務
  - ③開示義務（事業報告）
2. 対象範囲の拡大  
委員会等設置会社 → 大会社

### ●証券取引法から金融商品取引法へ（平成18年6月施行）

#### 金融商品取引法 第24条の4の4

有価証券報告書を提出する会社は、事業年度ごとに、財務計算に関する書類その他の情報の適正性を確保するための体制について評価した内部統制報告書を併せて内閣総理大臣に提出しなければならない。

（※大会社：資本金5億円以上か、負債総額200億円以上の株式会社）

## J-SOX法とは

「金融商品取引法」に盛り込まれた内部統制に関する規定オリジナルの米国版に対して日本版ということでJ-SOX法（企業改革法）と呼ばれている。（旧 証券取引法：平成18年6月成立）

### J-SOX法 ≠ 金融商品取引法 < 会社法

- ・ニッポン・スタンダードとして国内化に配慮し、「資産の保全」、「リスクの評価と対応」、「ITへの対応」の項目を追加。
- ・国際的な説明責任を念頭に、基準の英訳→世界へ発信、COSO報告書の内容はすべて包含“Beyond the COSO”、全公開会社に一律適用。





**Dr Ayako Mabuchi**  
BSc (Tokoyo) PhD (Nippon)

馬淵綾子さん（昭和43年度）

**Research Fellow**

Physiology, Otago School of Medical Sciences  
[ayako.mabuchi@stonebow.otago.ac.nz](mailto:ayako.mabuchi@stonebow.otago.ac.nz)

**Research Interest**

Liver Physiology

**Research**

Dr Mabuchi is a research fellow in the laboratory of Professor Antony Wheatley. The laboratory's research projects include: involvement of endothelin in hepatic ischaemia-reperfusion injury in rat liver transplantation. Hepatic haemodynamics in the regenerating liver of the rat. Hepatic microcirculation in cirrhosis. Hepatic stellate cells in liver regeneration. Protection of the liver during ischaemia-reperfusion injury by anti-oxidants. Hepatic haemodynamics during acute liver rejection in liver transplantation. Effect of nitric oxide gene deletion on systemic and hepatic haemodynamics.

2007年も残りわずかになりました。  
皆様お変わりなくご活躍のことと嬉しく存じます。私は皆様に多くの励ましを感じながら今年も無事にニュージーランドでの研究生活を過ごすことができました。大変感謝しております。



お陰様で私の研究生活もあますところ2年弱になりました。ラストスパートをきるにはいささかエネルギー切れの感がありますが、なんとか最後まできちんと研究をまとめたいとおもっております。

肝臓の研究を続けて行くことで、様々な現象に出会い生体の巧妙な仕組みに圧倒されてしまいます。いつまで経っても途切れることのない？はまるで底なしの沼にはまったようにも感じます。しかし、鉾脈に触ったように感ずるときには無理なく抵抗なく我々の目前に真実の姿を現してくれます。それは仏師が仏像を彫るときに感ずるもともと木の中にある仏像をただ掘り出しているにすぎないという感情と似ているような気がします。いかに素直に生物現象を見ることができるかが大切だと思います。

そう若くはない年齢にさしかかった私は残された研究生活を大切に大切に楽しみたいと願っています。これからも元気に頑張りたいと思います。



最後にこれからも宜しくご指導、ご鞭撻をお願い致します。

よいクリスマスとお正月をお迎えください。

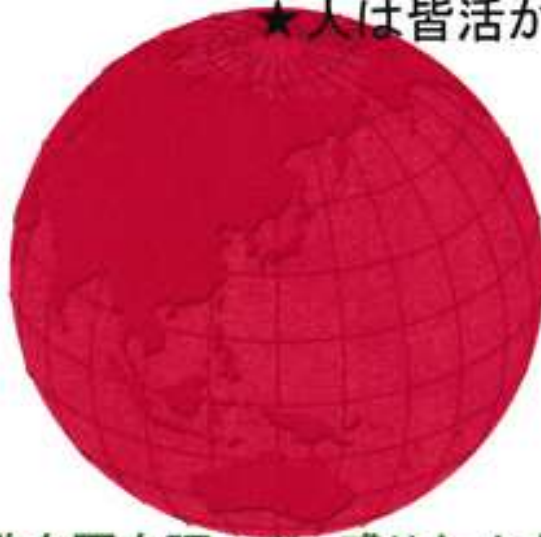
2007年12月 馬淵綾子  
From Dunedin, New Zealand



# 世界はひとつ

★ひとり一人が大切

★人は皆活かされている



世界30数カ国を廻って、感じた小さなでき事

2008. 01. 13 M. Kojima (昭和43年度)

## 1、初の海外赴任(フィリピン)

- そこにも、人々の  
平和な生活がある。
- 赴任早朝にAPTから見下ろ  
した赤い屋根瓦の家々
- 岸壁で遊ぶ小さな弟に手を  
差し伸べる姉のやさしさ
- パウロ2世の訪問パレード
- マニラ湾の夕日



## 2、世界に学び、 日本の素晴らしさを知る！！

### ひとり一人の出会い 大切に！！

- ・ ビジネスから学ぶ事  
発想の拡がり＝  
距離×人×時間
- ・ トラブルから学ぶ事
  - ①USA（係争）
  - ②豪州（係争、裁判）
  - ③インドネシア（交通事故）



## 感謝と貢献、伝承

### ・ 先輩から紹介された人達

- ①コンサートに誘って下さった  
UP教授、Dr. Hocson
- ②IRRIでの米栽培の研究  
吉田教授と  
ロックフェラー財団の  
研究所で学ぶ世界の若者
- ③バーでピアノを弾く軍曹  
親切な夜の護衛に気がつく  
のに4ヶ月が経っていた



### 3、ルネッサンス文化の感動



### 4、英国圏 オーストラリア

- 多国籍からの移民
- ロイヤル法廷弁護士  
Queen's Council
- 産業  
鉱業、畜産、農業
- 英国スポーツ
  - クロケット
  - 競馬(オーストラリア記念日)
  - フットボール
  - ゴルフ(全豪オープン)
  - テニス(全豪オープン)
  - F1 カーレース



## 5、 M & A (USA)

- Open Door Policy
- 全従業員の継続雇用  
生活安定、スキル伝承
- 16カ国からなる従業員  
国籍、言葉、宗教からの  
葛藤からチームワークへ  
→ 楽しく、生産性向上

THE END



清水恵一郎さん(昭和44年度)

阿部医院

■東京理科大学理学部化学科卒 同大薬学研究科修士修了 同大理学研究科  
博士課程修了 獨協医科大学卒 東京慈恵医大第1内科勤務  
昭和62年目黒区平町にて阿部医院開業  
＜資格＞理学士 薬学修士 理学博士 医学博士 日本内科学会認定内科医  
認定産業医 介護支援専門員  
■診療内容 内科・小児科・皮膚科・アレルギー科 放射線科・在宅医療



心の通う手作りの医療が基本と考えています。からだ全体についての相談と総合診療を心掛けています。必要に応じて、ご希望の病院に検査・入院のご紹介をします。保健・医療・福祉の連携を心がけて、患者さんと御家族に適切な情報を提供いたします。特に、介護保険導入に際しては患者さんの状況に合った「主治医意見書」を作成致します。



# ホームスパン二人展

野崎文子 さん（旧姓 高橋 昭和43年度）

## 工房布美



ホームスパン (homespun)

縦横に太い手紡ぎの毛糸を用いた手織りの毛織物。

- 本来はイギリスの羊飼い農家が羊の毛を自宅で紡いで織った布のこと。今では、手紡ぎで手織りされた毛織物のことをホームスパンと呼ぶ。
- 現在、糸紡ぎをする人（スピナー）のための羊毛は、本来の意味とは違って特別に飼育されているものが多く、中には羊毛が傷まないようにすっぽりとカバーを着せて飼っているものもある。特に色つきの羊は羊毛としての市場価値がないので、マニアのような羊飼いが、ほとんど趣味で細々と飼育しているという。
- このナチュラルカラー、洗うだけで染めずに使うと風合いがそのまま残り、スピナーにとっては「紡いでこそ」の醍醐味を与えてくれる。手で紡がれた糸でできた布は外見のスマートさには欠けるかもしれないが、ふんわりと空気をたくさん含み、紡績糸に比べて軽く暖かい。また、新しい時よりも、使い込んで肌に馴染んだ時のほうが着心地も魅力も増す。



マリーゴールドの花で草木染め<sup>7</sup>



同浴媒染で染める<sup>9</sup>



染めの完成です<sup>10</sup>

